

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	総合演習 II		
担当者(Instructors)	松永 昌宏	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)
「健康を増進させる介入研究の基礎を学ぶII」本授業では、病気の予防という観点から食生活や栄養の正しい知識を学び、食の持つ力を活用するための介入研究の実施方法の基礎を学びます。授業の中で、発酵黒たまねぎパウダーなどといった製品が健康状態に与える影響などについて体験します。

■授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	対面授業。グループワークとプレゼンテーションを実施する。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	ガイダンス。演習の運営方法の説明。	☐
第2回	栄養介入研究の準備	栄養介入研究の実施方法について事前に確認する。	☐
第3回	栄養介入研究実施前の心身の健康状態測定	栄養介入研究実施前の心身の健康状態を評価する。	☐
第4回	健康実践演習の準備 1	ゼミ内で役割分担して健康実践演習の準備を行う。	☐
第5回	健康実践演習の準備 2	ゼミ内で役割分担して健康実践演習の準備を行う。	☐
第6回	健康実践演習	1年生対象の健康実践演習を担当する。	☐
第7回	栄養介入研究の実施1	ゼミ内で役割分担して栄養介入研究を実施する。	☐
第8回	栄養介入研究の実施2	ゼミ内で役割分担して栄養介入研究を実施する。	☐
第9回	栄養介入研究の実施3	ゼミ内で役割分担して栄養介入研究を実施する。	☐
第10回	栄養介入研究実施後の心身の状態測定	栄養介入研究実施後の心身の健康状態を評価する。	☐
第11回	データ分析 1	栄養介入研究実施前後の心身の健康状態の変化を統計学的に評価する。	☐
第12回	データ分析 2	栄養介入研究実施前後の心身の健康状態の変化を統計学的に評価する。	☐
第13回	プレゼンテーションの準備	ゼミ内で栄養介入研究の結果をプレゼンするための準備を行う。	☐
第14回	プレゼンテーション	ゼミ内でグループに分かれて栄養介入研究の結果をプレゼンする。	☐
第15回	後期演習活動のまとめ	後期活動全体へのまとめ。	☐

■ 授業時間外学習（予習・復習）の内容 (Preparation/review details)
授業前に配布資料やインターネットで授業テーマと内容を予習し（2時間程度）、授業後に課題レポートを作成する（2時間程度）

■ 課題とフィードバックの方法 (Assignments/feedback)
課題レポート・練習問題は翌週フィードバックし、解説とともに解答例を提示し、全体で共有する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)

知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	栄養面からの健康づくりの基礎に関連する幅広い知識を習得し、それを活用することができる
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	栄養面からの健康づくりについて、自ら考えることができ、発信することができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	栄養面からの健康づくりについて自己を理解し、主体的に他者と協働して問題を解決することができる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 授業内課題とレポートを平常点として採点する。授業時間内に出欠を取る（合計15回分）。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		